

第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

政策目標4	心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち
-------	------------------------

施策4-1 教育環境の整備

施策4-2 未来を創る教育の充実（小・中学校）

施策4-3 生涯学習活動の推進

施策4-4 青少年の健全な育成

施策4-5 市民スポーツ活動の推進

施策4-6 歴史・芸術文化の振興

施策4-7 郷土愛の醸成

担当課	教育総務課	施策4-1の全指標達成率					
政策目標	4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	1 教育環境の整備	指標数	18	18	19	19	19
目指す姿	児童・生徒・教職員・保護者にとって児童・生徒が学習しやすい環境が整っている	達成数	14	11	0	0	0
		達成率	77.8%	61.1%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	3	3	3	3	3
	達成数	3	3	0	0	0
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

成果指標 1	児童生徒1人当たりの教育用コンピュータ数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	0.16台	目標値	1	1	1	1		
			実績値	1.03	1.07					
			評価	○ 達成	○ 達成				以上	

目標値の考え方
 国が推進するGIGAスクール構想(※)における児童生徒1人1台端末を目標値とした。
 ※GIGAスクール構想・・・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する。

成果指標 2	長寿命化計画に基づく具体的な改修計画の策定・改修の実施	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	未策定	目標値	0/14	1/14	1/12	1/12		
			実績値	0/14	1/14					
			評価	○ 達成	○ 達成				以上	

目標値の考え方
 統廃合が決定している学校(東・西・旭小)及び児童生徒数を考慮し、今後存続することが確実であると考えられる学校(南小・南中・大池小・門野中)について優先的に計画を策定し、改修を実施することとする。(目標値は改修実施済みの学校数)

成果指標 3	異物混入、アレルギー、食中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生件数	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	0件	目標値	0	0	0	0		
			実績値	0	0					
			評価	○ 達成	○ 達成					

目標値の考え方
 食物アレルギーを持つ児童生徒が全国的に増加傾向の中で、大量調理の給食センターや施設の老朽化が著しい学校の給食室において、異物混入、アレルギー、食中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生を防ぎ、引き続き安全安心な給食を提供する。

R4年度	1 (実績評価) ・令和4年度の児童生徒数3,594人に対し、端末3,874台(令和4年度末)を整備した。 (次年度修正点) ・購入から1年間のメーカー保証も終了しており、今後故障する端末の増加が加速すると予想されるため、引き続き目標値が達成できるよう適切に修繕等を行っていく。
	2 (実績評価) ・統合に伴う東小学校校舎の改修修繕を実施した。 (次年度修正点) ・今後計画する学校の改修修繕箇所の選定を行う。
	3 (実績評価) ・アレルギーガイドブック改訂、衛生研修会の実施など、市内全校で共有することで事故を未然に防止する体制が強化された。 (次年度修正点) ・アレルギー児童生徒数増加、原因食材も多岐に渡るため、事故防止の研修会を実施することで事故を未然に防止する。

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	15	15	16	16	16	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	11	8	0	0	0		
				達成率	73.3%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
O1	小・中学校の規模と配置の適正化の推進	達成状況	指標数	1	1	2	2	2			
			達成数	1	1	0	0	0			
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
	O101 「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」の実現	東・西・旭小3校の円滑な統合の実現	R1	目標値	協議会の開催	統合の実現	統合後のフォローアップの実施	統合後のフォローアップの実施	統合後のフォローアップの実施	実現	教育総務課
			基本方針の策定	実績値	2回開催	実現					
			評価	○ 達成	○ 達成						
	O102 新たな基本方針の検討	新たな基本方針の策定	—	目標値	—	—	3校統合後の検証	後期方針内容の検討	新たな基本方針の策定	—	教育総務課
			—	実績値	—	—					
			※	評価	—	—					
年度評価	R4	O101 統合地域協議会を3回開催し、了承を得た上で統合の実現を達成した。									
		O102 —									

※ 令和5年度から着手するものであることから、基準値を一とした。

O2 学校施設の環境整備及び老朽化対策				指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
	O201 学校校舎トイレの改修（床の乾式化・洋式便器の増設等）	校舎内トイレの洋式化率	R2 49.3%	目標値	55.0	65.0	75.0	85.0	100.0	%	教育総務課
				実績値	51.5	61.8					
				評価	× 未達成	× 未達成				以上	
	O202 映像装置のデジタル化改修	整備済学校の割合	R2 6校/15校	目標値	8/14	9/14	10/12	11/12	12/12	校	教育総務課
				実績値	6/14	6/14				以上	
				評価	× 未達成	× 未達成				以上	
	O203 校舎屋上防水工事の実施	実施済学校の割合	R2 7校/15校	目標値	8/14	9/14	10/12	11/12	12/12	校	教育総務課
				実績値	7/14	8/14				以上	
				評価	× 未達成	× 未達成				以上	
	O204 学校施設の長寿命化を図るための大規模修繕の検討	具体的な改修計画の策定	R2 0校	目標値	1/14	1/14	1/12	2/12	2/12	校	教育総務課
				実績値	1/14	1/14				以上	
				評価	○ 達成	○ 達成				以上	
年度評価	R4	O201 南小学校及び門野中学校校舎トイレの洋式化を実施し、75基を整備したが、全体実績値は目標値を達成できなかった。令和5年度は南中学校の校舎トイレの洋式化を実施し、目標の達成を図りたい。									
		O202 各教室のデジタルテレビ（電子黒板）の整備と併せて検討していく予定だったが、目標値を達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。									
		O203 東小学校校舎屋上防水工事を実施したが、実績値は達成できなかった。次年度以降計画的に改修を行っていく。									
		O204 東小学校校舎の改修を完了した。									

03 学校給食センターを最大限に活用した食育と地産地消の推進			達成状況	指標数	5	5	5	5	5		
				達成数	4	3	0	0	0		
				達成率	80.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301 今後の児童生徒数を見据えた学校調理場の集約	給食調理実施校（委託校を除く。）1校当たりの調理員（短時間パート職員を除く。）の配置人数	R1 11人/4校	目標値	2人以上	2人以上	2人以上	2人以上	2人以上	人	教育総務課	
0302 安全安心な給食の提供	異物混入、アレルギー、食中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生件数（市内全校）	R1 0件	実績値	0	0	0	0	0	件	教育総務課	
0303 魅力ある学校給食の提供	給食における残食率（市内全校）	R2 6.24%	目標値	対前年減	対前年減	対前年減	対前年減	対前年減	%	教育総務課	
0304 学校給食を通じた食育の推進	給食の時間における食に関する年間指導計画の作成率	R2 13校/15校	実績値	7.55	8.02				校	教育総務課	
0305 学校給食を活用した地産地消の推進	給食食材に占める市内産食材の使用割合（市内全校）	R2 5.0%	目標値	対前年増	対前年増	対前年増	対前年増	対前年増	%	教育総務課	
			実績値	10.9	5.3						
			評価	○ 達成	× 未達成						
R4	0301	R5年度から東小・西小・旭小の統合により西小・旭小が廃校となり、伊東小学校となったことから、単独調理場は八幡野小だけとなった。単独校の良さを活かした学校給食、また、共同調理場、給食センターについては大量調理ならではの美味しい給食提供を目指す。									
	0302	給食センターを拠点に情報の共有を図り、安心安全な給食提供の実現に努めた。R4年度は衛生管理について研究会を開催することで作業確認を実施し、衛生意識の向上に努めた。									
	0303	献立のあり方について検討する会議を定期的に開催し、ふるさと給食や地産地消等を活用した魅力ある給食の提供を実施した。リクエスト給食を実施するなど、児童生徒の嗜好を考慮した献立作成を心がけ、残菜量の軽減にも取り組んだ。さらに、各校で食指導を行い、環境面や栄養面から残さないで食べるように児童生徒への指導を充実していく。									
	0304	市内の小中学校で給食の時間や教科において、栄養教諭を中心に食育年間指導計画に沿った計画的な食指導を実施した。今後も給食関係職員が定期的に学校給食センターを中心に情報交換をすることにより、食育活動、食指導の更なる推進を図りたい。									
	0305	地元農家をはじめ、農協や青果店など多方面の協力もあり、地元で生産された野菜等を納入できる機会が増え、年間を通じて安定的に使用することができた。「地産地消推進事業」の活用により、使用回数・使用量・野菜の種類も増加傾向にあり、今後も伊東産食材の積極的な活用を目指す。									

04 最先端のICT教育環境整備の充実			達成状況	指標数	5	5	5	5	5		
				達成数	5	3	0	0	0		
				達成率	100.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401 児童生徒及び教職員1人1台端末環境の維持拡充	教員1人当たりの指導者用コンピュータ数	R1 0.40台	目標値	1	1	1	1	1	台	教育総務課	
0402 校内LAN（無線LAN）環境の維持拡充	整備済学校の割合	R1 0%	実績値	1.03	1.05				%	教育総務課	
0403 大型提示装置の小中学校の全普通教室・特別教室整備	整備済教室の割合	R1 35.2%	目標値	100	100	100	100	100	%	教育総務課	
0404 実物投影機の本普通教室・特別教室整備（小学校）	整備済教室の割合	R1 35.2%	実績値	100	100				%	教育総務課	
0405 デジタル教材を活用できる環境の整備	児童生徒1人当たりの教育用コンピュータ数	R1 0.16台	目標値	60.0	70.0	90.0	100	100	%	教育総務課	
			実績値	64.7	62.0				以上		
			評価	○ 達成	× 未達成						
R4	0401	令和4年度の教職員数291人に対し、端末307台（令和4年度末）を整備した。									
	0402	無線LAN機器によるネットワーク障害が生じないよう校内無線LAN環境の維持を図った。									
	0403	令和4年度中に新たな大型提示装置を8台設置したが、特別教室への整備が目標に達しなかった。また、年度ごとで使用している教室数が異なり、令和3年度と比較し整備済教室の割合が減少した。引き続き、大型提示装置を整備していく。									
	0404	令和4年度中に新たな実物投影機は整備できなかった。また、年度ごとで使用している教室数が異なり、令和3年度と比較し整備済教室の割合が減少した。引き続き、実物投影機を整備を実施していく。									
	0405	令和4年度の児童生徒数3,594人に対し、端末3,844台（令和4年度末）を整備した。									

担当課	教育指導課	施策4-2の全指標達成率					
政策目標	4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	2 未来を創る教育の充実（小・中学校）	指標数	20	22	23	23	23
目指す姿	児童・生徒が夢や希望を抱くことができる 子どもたちが夢や希望を育むことのできる魅力ある学校	達成数	8	9	0	0	0
		達成率	40.0%	40.9%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標（KPI）		指標数	2	2	2	2	2	2		
成果指標 1	学校が楽しいと思う子どもの割合【小学校】（学校生活アンケート）	達成数	1	1	0	0	0	0	%	教育指導課
		達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7		
目標値	90.2	91.5	92.7	94.0	95.0					
実績値	88.1	87.2								
評価	× 未達成	× 未達成								以上
目標値の考え方	児童を対象とした学校評価（学校生活アンケート）の「学校がたのしいですか」との質問に対し、「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」と回答した児童の割合。 小学校では、令和元年度実績88.6%、令和2年度実績89.1%と各年度0.5%の上昇幅にとどまっているが、各年度1%程度の上昇を目標とした。									
成果指標 2	学校が楽しいと思う子どもの割合【中学校】（学校生活アンケート）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	目標値	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	%	教育指導課
		85.7%	実績値	88.3	88.4					
			評価	○ 達成	○ 達成					
目標値の考え方	生徒を対象とした学校評価（学校生活アンケート）の「学校がたのしいですか」との質問に対し、「かなり当てはまる」「まあ当てはまる」と回答した生徒の割合。 中学校では、令和元年度実績83.6%、令和2年度実績85.7%を参考とし、各年度2%上昇を見込むところだが、令和2年度の上昇率が大きかったことや生徒の主観によるところが大きいことを考慮し、上昇幅を抑え各年度1%程度とした。									
R4年度	<p>1（実績評価）・令和3年度に比べ0.9%下回る結果となった。コロナ禍で制約のある学校生活や学校の統廃合など環境の変化等によるストレスや不安を感じている児童が一定数いるためと考えられる。 （次年度修正点）・令和3年度が88.1%であったことから、令和5年度はそれを上回ることができるように努めたい。</p> <p>2（実績評価）・令和3年度よりも0.1%上回る結果となった。タブレット端末やICTを活用した授業を実施したことや、行事の工夫等により引き続き学びの楽しさを実感した生徒がいたためと考えられる。 （次年度修正点）・令和4年度の実績値を参考にして、令和5年度の目標値を上回ることができるように努めたい。</p>									

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）		指標数	18	20	21	21	21	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
O1 「学びに向かう力」の育成	達成状況	達成数	7	8	0	0	0			
		達成率	38.9%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101 確かな学力の向上	全国学力学習状況調査(小6・中3)で国語・算数(数学)の平均ポイント(全国平均を100とした場合)	R2 小学校	目標値	99.5	100.1	100.7	101.4	102.0	ポイント	教育指導課
		R2 中学校	目標値	103.1	103.6	104.0	104.5	105.0		
O102 外国語教育の充実	「外国人や外国の文化に興味を持ち、積極的に接している」児童生徒の割合	R2 小学校	目標値	64.5	65.0	65.5	66.0	66.5	%	教育指導課
		R2 中学校	目標値	55	60.0	60.5	61.0	61.5		
O103 ICT機器の効果的な活用	「授業の内容がよくわかる」と答えた児童生徒の割合	R2 小学校	目標値	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	%	教育指導課
		R2 中学校	目標値	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5		
年度評価	<p>O101 基礎的な学力については身に付いていた。応用的な思考力が必要な問題を解くことに課題があるので、普通の授業の中で思考力を問うような課題を解決していく機会を設けていく。</p> <p>O102 総合的な学習や英語の授業を通して、他国の文化に触れたり、外国を学んだりすることができた。今後はデジタル教科書やA L T を効果的に活用した授業実践を進めていく。</p> <p>O103 タブレット端末が導入され、授業での活用や家庭への持ち帰りを進めることができた。今後も、各校でICTの活用を進め、効果的な方法は市内の全学校で共有するなどして、教職員のスキルアップを図る。</p>									

O2 「人として備えたい力（人間性）」の育成			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O201 社会性や規範意識の定着（あいさつの奨励）	「近所の人や知り合いの人にあいさつをしている」児童生徒の割合	R2 86.0%	目標値	87.0	88.0	89.0	90.0	91.0	%	教育指導課	
			実績値	87.1	87.1						
			評価	○ 達成	× 未達成						
O202 自己肯定感を高めて思いやりの心の醸成（道徳教育の充実）	「友だちのことを思いやり行動することができる」児童生徒の割合	R2 91.0%	目標値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	%	教育指導課	
			実績値	93.1	92.8						
			評価	○ 達成	× 未達成						
O203 小中学校の各段階におけるキャリア教育の推進	「自分の思いや考えを回りの人に伝えることができる」児童生徒の割合	R2 78.6%	目標値	79.5	80.0	80.5	81.0	81.5	%	教育指導課	
			実績値	79.9	80.9						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	O201 目標値は下回ったものの比較的あいさつに対する意識は高い。各学校であいさつ運動の工夫や推進をし、あいさつに対する意識を高めていく。										
	O202 目標値は下回ったものの相手を思いやる気持ちは育っている。今後も道徳授業や各教科で人権意識を高める授業を実践し自他を尊重する態度を育成していく。										
	O203 学び手の視点で構想した授業の実施やICTの活用により、社会的自立の基盤となる能力や態度が育成されてきている。今後も授業改善を一層進め、これからの社会に求められる資質能力の育成を図っていく。										

O3 「命を守る力」の育成			達成状況	指標数	2	2	3	3	3		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O301 危険を未然に回避する力や緊急時の対応力の育成	地域防災訓練に参加した生徒の割合	— ※1	目標値	— ※2	— ※2-2				%	教育指導課	
			実績値	—	—						
			評価	—	—						
O302 健康的な生活習慣の定着	「規則正しい生活ができている」児童生徒の割合	R2 80.4%	目標値	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	%	教育指導課	
			実績値	81.6	79.0						
			評価	○ 達成	× 未達成						
O303 運動能力の向上	新体力テスト（8種目）の結果が、県平均以上である種目の割合	R1 75.0%	目標値	75.5	76.0	76.5	77.0	77.5	%	教育指導課	
			実績値	63.0	79.0						
			評価	× 未達成	○ 達成						
年度評価 R4	O301 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中学生の参加を見送る地区が多く見られたため、令和4年度目標値は「—」とし、令和4年度に調査した結果を基に令和5年度から令和7年度の目標値を設定する。										
	O302 新しい生活様式が定着し、衛生面や規則正しい生活が認識されてきた。今後も家庭との連携や健康に関する情報の提供を進め、一層の定着を図っていく。										
	O303 引き続き、運動に興味を持ち、好きになれるような取組を体育の授業の中に取り入れていく。										

※1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度は未実施。それ以前は調査していないため基準値は「—」とする。なお、令和3年度の調査実施時に実績値を基に令和7年度までの目標値を設定する。

※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度は未実施のため、令和3年度の実績値を基準とする。

※2-2 令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施としたため、令和4年度目標値は「—」とし、令和4年度に調査した結果を基に令和5年度から令和7年度の目標値を設定する。

O4 教育的支援体制の充実			達成状況	指標数	5	6	6	6	6	単位	担当課
			達成数	1	2	0	0	0			
			達成率	20.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7			
O401 支援員の適正な配置	教育的支援が必要な児童生徒に対する支援員の割合	R2	目標値	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	% 教育指導課		
		7.9%	実績値	10.2	11.6						
O402 教職員の研修強化	特別支援教育に関する研修会を通じて特別支援教育への知識や理解が深まったと感じた参加者の割合	R3	目標値	—	95.0	95.0	95.0	95.0	% 教育指導課		
		100%	実績値	100.0	100.0						
O403 校内及び市就学支援委員会の充実	市就学支援委員会の判定に基づき、適正に就学した児童生徒の割合	7.9	目標値	66.0	66.5	67.0	67.5	68.0	% 教育指導課		
		65.1%	実績値	63.0	62.7						
O404 いじめ対策の推進	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	R2	目標値	97.0	98.0	99.0	100	100	% 教育指導課		
		96.0%	実績値	96.0	95.9						
O405 不登校対策の推進	不登校児童生徒の出現率	R2	目標値	1.57	1.52	1.47	1.42	1.37	% 教育指導課		
		1.62%	小学校	実績値	2.43	2.69					
		R2	目標値	5.21	5.16	5.11	5.06	5.01	% 教育指導課		
		5.26%	中学校	実績値	6.75	7.06					
年度評価	<p>O401 目標値を達成することができたが、特別な支援を必要としている児童生徒は増加傾向にあるため、今後も丁寧の実態調査を行い、指導の充実を図っていく。</p> <p>O402 特別支援教育コーディネーターや特別支援教育支援員等を対象とした研修会を複数回実施した。教職員の特別支援教育への関心は高く、研修の必要性を実感しているため、今後も研修の充実を図っていく。</p> <p>O403 市就学支援委員会で審議する件数は増加傾向にある。今後も、市特別支援アドバイザーの巡回相談等を効果的に活用し、適正な判定につなげていく。</p> <p>O404 目標値は下回ったものの子供たちのいじめに対する意識は高い。子供たちの人権感覚を高めるためにも道徳教育の充実等を図っていく。学校全体でいじめは許さない雰囲気をつくり、未然防止に努めていく。</p> <p>O405 不登校出現率は昨年度より増加しているが、全国や県の増加率より増え幅は小さくなっている。これ以上出現率が増えないよう、新規の不登校児童生徒が出ないように初期の対応を大切にしていきたい。</p>										

※3 令和3年度から新たに調査したため、令和3年度に実施する調査の実績値を基準値とした。

O5 地域社会との連携推進			達成状況	指標数	2	3	3	3	3	単位	担当課
			達成数	1	1	0	0	0			
			達成率	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7			
O501 郷土愛の醸成	本市のことが好きと答えた児童生徒の割合	R3	目標値	—	89.2	89.5	89.7	90.0	% 教育指導課		
		89.0%	実績値	89.0	89.0						
O502 地域活動への積極的な参加	地域で行われる活動に積極的に参加している児童生徒の割合	R2	目標値	61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	% 教育指導課		
		60.5%	実績値	58.0	59.9						
O503 学校運営に関する情報発信	地域の広報誌や掲示板、公共施設等で情報発信している学校の割合	R2	目標値	85.0	90.0	95.0	100	100	% 教育指導課		
		80.0%	実績値	100	100						
年度評価	<p>O501 生活科や社会科などの地域学習を通して、子供たちは伊東市の特徴や他地域との違いを知り、郷土愛を育てている。今後も発達段階に応じた地域学習を実施するだけでなく、地域人材の活用を進めていく。</p> <p>O502 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、地域の行事自体が中止になることが多く、児童・生徒の地域行事への参加機会は限定されてしまった。今後、学校では地域人材を活用するなど地域とのつながりを持つための工夫をしていく。</p> <p>O503 学校だよりを通じて、各校の教育活動を地域の方に情報発信することができた。地域総がかりで子どもを育てていくという理念のもと、令和5年度も継続して地域への情報発信を大切にしていきたい。</p>										

※4 令和3年度から新たに調査したため、令和3年度に実施する調査の実績値を基準値とした。

担当課	生涯学習課	施策4-3の全指標達成率					
政策目標	4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3 生涯学習活動の推進	指標数	11	11	11	11	11
目指す姿	市民が生涯にわたる学びや活動に参加し、豊かさ を享受できる	達成数	2	2	0	0	0
		達成率	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	「生涯学習活動の推進」に満足している市民の割合 (市民満足度調査)	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課
		達成数	0	0	0	0	0		
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
成果指標 1	74.7%	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	生涯学習課
目標値		75.3	75.9	76.6	77.2	78.0			
実績値	72.8	69.4						以上	
評価	× 未達成	× 未達成							
目標値の考え方	市民満足度調査を参照することにより、市民の中から無作為に抽出された広範囲の皆様の意見や評価を把握することが可能となるため。								
成果指標 2	市民一人当たりの図書貸出冊数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	冊	生涯学習課
目標値		2.88	2.92	2.95	3.28	3.76			
実績値	2.70	2.57					以上		
評価	× 未達成	× 未達成							
目標値の考え方	総貸出数を新図書館の開館に向けた令和5年度までは毎年度1,000冊、開館年度となる令和6年度は20,000冊、令和7年度は30,000冊増やすことを目標とする。なお、人口数は今後の人口減少を想定し毎年度500人減で算出している。(基準値: 総貸出数=令和元年度192,472+1,000冊≒193,500冊①、人口=令和元年度人口平均68,505人-500人≒68,000人②から、①÷②≒2.85冊)								
R4年度	1 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各種講座等への参加が減少したことが影響したものと考えている。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類へと移行するのを踏まえ、市民の皆様の満足度向上につながるような各種講座の実施に努める。								
	2 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、来館者数が減少したことも影響したとと考えている。 (次年度修正点) ・より多くの市民が手に取りたいようになるように企画展示など配架に工夫をし、多くの市民が利用しやすくなるような図書館運営に努める。								

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)	指標数	9	9	9	9	9	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況			
	達成数	2	2	0	0	0				
	達成率	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%				
O1 生涯学習機会の提供	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課	
	達成数	1	0	0	0	0				
達成率	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	以上			
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6			R7	
O101 生涯学習自主事業等の充実	生涯学習自主事業の実施回数	R1	目標値	2	3	3	4	4	回	生涯学習課
		2回	実績値	0	2					
評価			× 未達成	× 未達成				以上		
O102 生涯学習指導者等の発掘	「まなびのとびら」に登録する指導者の数	R1	目標値	63	65	65	67			67
63人	実績値	65	46							
評価			○ 達成	× 未達成				以上		
R4年度	O101 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を中止したため、目標値を達成できなかった。令和5年度については魅力ある事業を数多く企画実施するよう努める。									
O102 新型コロナウイルス感染症拡大の影響や生徒数の減少により活動の継続が困難となってしまった指導者が非常に多かったため、目標値を達成できなかった。令和5年度については広報いとうやHP等により広く周知を図り、指導者登録数を増やしていく。										

O2 市民の自主的生涯学習活動の推進	達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課	
	達成数	0	0	0	0	0				
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	人	生涯学習課	
O201 市民向け学習講座・教室の内容の充実	市民大学・いでゆ大学・楽しく学ぶ子育て講座延べ参加者数	R1	目標値	500	1,500	1,550	1,600			1,650
		1,604人	実績値	261	631					
評価			× 未達成	× 未達成				以上		
O202 学習成果を生かした地域における学習交流機会の創出	コミュニティセンター及び生涯学習センターの使用回数	R1	目標値	14,000	14,000	14,050	14,100			14,150
14,232回	実績値	8,432	10,529							
評価			× 未達成	× 未達成				以上		
R4年度	O201 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一部事業を中止したことや、各種講座への参加を控える方が多かったことから、目標値を下回る結果となった。令和5年度については各種講座・教室の内容を充実し、多くの方に参加いただけるよう努める。									
O202 新型コロナウイルス感染症拡大により活動を控える団体や縮小する団体が多く見受けられた。また、新型コロナウイルス感染症対策として様々な制約を設けたことで市民の利便性が低下してしまったため、目標を達成できなかった。今後は従来通りの開館及び施設利用ができるようにすることで目標達成に努める。										

O3 生涯学習団体の情報提供の充実			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O301 広報誌やSNS等を活用した情報提供	広報誌やSNS等を活用した生涯学習団体の情報提供件数	R1	目標値	16	17	18	19	20	件	生涯学習課	
		16件	実績値	13	31						
			評価	× 未達成	○ 達成						
O302 市内サークル活動団体の情報収集	「まなびのとびら」に活動状況を掲載する団体数	R1	目標値	290	300	300	310	310	団体	生涯学習課	
		288団体	実績値	295	240						
			評価	○ 達成	× 未達成						
O303 生涯学習情報誌やホームページによる情報発信	ホームページ「まなびのとびら」の更新回数	R1	目標値	10	10	12	12	12	回	生涯学習課	
		8回	実績値	2	2						
			評価	× 未達成	× 未達成						
年度評価	R4	O301 団体の希望により後援事業を市HPで紹介する取組みを令和3年度から開始しており、令和4年度はこの取組の周知が進んだことから、目標値を大幅に上回った。今後も積極的な広報を継続する。									
		O302 まなびのとびらに掲載したことにより加入者が大幅に増加したため一時的に掲載を停止する団体や、新型コロナウイルス感染症により活動を縮小するため掲載を停止する団体が多数あったため目標値を大幅に下回った。引き続き広報いとうやHP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていく。									
		O303 新型コロナウイルス感染症拡大により活動を自粛している団体が多かったことから目標を達成できなかった。引き続き広報いとうやHP等により広く周知を図り団体登録数を増やしていくとともに、市民に最新の情報を提供できるよう、定期的な更新に努め									

O4 魅力ある図書館の構築事業の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	0	1	0	0	0		
				達成率	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401 様々なイベントや企画展の実施	イベント・企画展の開催数	R1	目標値	42	44	46	50	60	回	生涯学習課	
		38回	実績値	30	43						
			評価	× 未達成	× 未達成						
O402 新図書館建設	市民満足度調査における図書館の利用割合	R1	目標値	39.1	39.5	39.9	42.4	47.3	%	生涯学習課	
		38.4%	実績値	38.4	41.4						
			評価	× 未達成	○ 達成						
年度評価	R4	O401 前年度を上回るイベントや企画展を開催したものの、新型コロナウイルス感染症対策により中止とした事業があったため、目標値には到達しなかった。今後も図書館の魅力を発信できる企画を実施するよう努める。									
		O402 新図書館建設については、令和4年度に実施設計が完了し、令和5年度は新築工事を進めていく。新図書館においては、蔵書の増加のみではなく、各種機能の充実を図るとともに、新規利用者の確保及び一定期間図書館を利用していなかった潜在利用者の利用促進に向け、市民説明会やSNS等を活用したPRを実施し、機運醸成に努める。									

担当課	生涯学習課	施策4-4の全指標達成率					
政策目標	4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	4 青少年の健全な育成	指標数	10	10	10	10	10
目指す姿	次代を担う青少年が、豊かな人間性・社会性を身に 着け、地域とともに健やかに育つことができる	達成数	5	6	0	0	0
		達成率	50.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	1	1	1	1	1
		達成数	0	0	0	0	0
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標 1	小・中・高生一人当たりの地域学校 協働活動への参加回数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7
		R1	1.35回	1.43	1.49	1.55	1.61
		実績値	0.44	0.95			
		評価	× 未達成	× 未達成			
目標値 の 考え方	令和7年度にかけて市内小・中・高生の人数が1,000人以上減少する見込みの中で、地域学校協働活動への参加を促す事により、青少年の健全な育成に資する。なお、地域学校協働活動への参加者数は、①あいさつ運動（一斉活動）、②放課後子ども教室、③ふるさと教室、④夢チャレンジくらぶへの延参加者数の合計とする。						
R4 年度	1 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症を機に、特にふるさと教室の講座数を従来の2分の1としたことから、ふるさと教室及び夢チャレンジくらぶ延べ参加者数が大幅に減少したため目標を下回る結果となった。 (次年度修正点) ・アフターコロナにおいても、講座へ参加しやすくなるよう考慮し、ふるさと教室については講座数を2分の1で維持する予定であるため延べ参加者数は目標よりも減少することとなる。従って、①あいさつ運動（一斉活動）②放課後子ども教室の実施状況にもよるが、概ね実績値は1回前後で推移していく見込みである。						

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)		指標数	9	9	9	9	9	
		達成数	5	6	0	0	0	
		達成率	55.6%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
O1 声かけ・あいさつ運動の推進		達成状況	指標数	3	3	3	3	
			達成数	1	1	0	0	
			達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	
O101	地域におけるあいさつ運動の推進	R1 129団体	目標値	132	135	139	142	145
			実績値	162	160			
			評価	○ 達成	○ 達成			
O102	小・中学校及び高校におけるあいさつ運動推進	R1 2,754人	目標値	2,760	2,760	2,760	2,760	2,760
			実績値	632	1,554			
			評価	× 未達成	× 未達成			
O103	あいさつ運動の広報の推進	R1 5回	目標値	5	6	6	7	7
			実績値	4	4			
			評価	× 未達成	× 未達成			
年度 評価	O101 引き続き賛同していただいた団体がほとんどであったため目標値よりも高い結果となったが、賛同数は減少したため、情報発信を強化し、新規賛同団体の増加を図っていく。							
	O102 市民一斉活動を夏と秋の年2回実施している。令和3年度は、台風の影響で夏の市民一斉活動を中止としたが、令和4年度は予定通り実施できたため延べ参加者数は2倍以上に増加したものの、目標数値に至らなかった。今後は学校へのアプローチを見直し、参加者数の増加を図っていく。							
	O103 あいさつ運動版やSNS等を活用した広報回数が夏と秋の市民一斉活動において各2回であったため、目標数値に至らなかった。今後はSNSで事前告知を行い、情報発信に努めていく。							

O2 地域における居場所づくりの推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2
			達成数	1	1	0	0	0
			達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	
O201	地域活動団体の推進	R1 5教室	目標値	5	6	6	7	7
			実績値	5	7			
			評価	○ 達成	○ 達成			
O202	広報誌やSNS等を活用した地域における放課後等子どもたちの居場所に係る情報発信	R1 0回	目標値	1	1	2	2	2
			実績値	0	0			
			評価	× 未達成	× 未達成			
年度 評価	O201 新たに実施を希望する団体が増加したことで、目標を達成した。引き続き、持続的に教室運営を担うことができる団体の掘り起こしに努めていく。							
	O202 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、積極的な広報を実施できなかったが、令和5年度については、情報発信の強化に努める。							

O3 地区青少年健全育成活動の活発化		達成状況	指標数	1	1	1	1	1
			達成数	0	1	0	0	0
			達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	
O301	青少年健全育成活動への地域の積極的な関与	R1 10人	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	9	64			
			評価	× 未達成	○ 達成			
年度 評価	O301 団体賞において地域からの推薦があったため、目標を大幅に超える実績となった。個人単位はもちろんのこと、クラスや学年単位で善行に励み、地域に認められることは、地域学校協働活動を進める上でも非常に重要であることから、引き続き地域から多くの推薦が上がるよう取り組んでいく。							

※ 基本的な取組・主な内容の達成状況

O4 次世代を担うリーダーの育成			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	3	3	0	0	0			
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主要内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401 リーダー育成機会の拡大（夢チャレンジくらぶの開催）	ふるさと教室を経て、夢チャレンジくらぶに参加した者の割合	R1	目標値	33.3	40.0	40.0	40.0	40.0	%	生涯学習課	
		40.5%	実績値	37.7	52.0						
		評価	○ 達成	○ 達成							
O402 少年教育の推進（小学生ふるさと教室の開催）	小学生ふるさと教室の参加者数	R1	目標値	40	40	40	40	40	人	生涯学習課	
		40人	実績値	50	40						
		評価	○ 達成	○ 達成							
O403 年少者を指導する中高生の育成（静岡県初級・中級青少年指導者認定者事業の推進）	夢チャレンジくらぶの参加者のうち、静岡県青少年指導者認定を受けた者の割合	R1	目標値	52.9	55.6	55.6	55.6	55.6	%	生涯学習課	
		52.9%	実績値	82.6	84.6						
		評価	○ 達成	○ 達成							
R4	O401 ふるさと教室参加希望者が年々増加し、夢チャレンジくらぶ生として参加を希望する生徒が増えているため、引き続きこの流れを推進していく。										
	O402 ふるさと教室については、年々応募者が増加し令和4年度は、定員40人に対し約100人を超える143人の応募があった。当該事業への参加意欲が非常に高いため、引続き事業のブラッシュアップを図っていきたい。										
	O403 令和3年度までに静岡県青少年指導者認定を受けた者が令和4年度の夢チャレンジくらぶに13人参加したこと、令和4年度の夢チャレンジくらぶに新たに参加した13人のうち9人が指導者認定を受けたことから、目標値を大きく上回ることができた。引続き新規参加者を募る中、級別認定者を増やすことで、次世代を担うリーダーの育成に努める。										

担当課	生涯学習課	施策4-5の全指標達成率					
政策目標	4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	5 市民スポーツ活動の推進	指標数	7	8	8	8	8
目指す姿	市民が気軽に快適にスポーツに取り組むことができ、生涯にわたって健康を維持することができる	達成数	3	2	0	0	0
		達成率	42.9%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	1	1	1	1	1			
	達成数	0	0	0	0	0			
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	「市民スポーツ活動の支援」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	74.5	76.0	77.5	78.5	80.0	%	生涯学習課
		73.3%						以上	
目標値の考え方	市民満足度調査を参照することにより、市民の中から無作為に抽出された広範囲の皆様の意見や評価を把握することが可能となるため。								
R4年度	1 (実績評価) ・新型コロナウイルス感染症予防のため、社会体育施設の利用制限や各種教室・大会の中止など、コロナ禍において活動に制限が課された点やスポーツをする機会が減った影響によるものであると考える。 (次年度修正点) ・新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へと移行するのを踏まえ、社会体育施設における利用制限の見直しや事業実施ができるよう進めていく。								

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)	指標数	6	7	7	7	7	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況				
	達成数	3	2	0	0	0					
	達成率	50.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%					
O1 スポーツ団体の支援	達成状況	指標数	2	2	2	2	2				
		達成数	2	1	0	0	0				
		達成率	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O101	スポーツ団体の活動支援	体育協会加盟団体数	R1 26団体	目標値	26	26	26	26	26	団体	生涯学習課
				実績値	26	26					
				評価	○ 達成	○ 達成				以上	
O102	スポーツに取り組む市民の活動支援	スポーツ賞賜金交付人数	R1 31人	目標値	32	34	36	38	40	人	生涯学習課
				実績値	36	30					
				評価	○ 達成	× 未達成				以上	
年度評価	R4	O101 令和4年度は目標値を達成することができた。引続き加盟団体への支援及び加盟団体数の維持向上が図られるよう新規加盟の促進にも実施していく。									
		O102 令和4年度は個人30件の交付にとどまった。コロナ禍において体調不良や感染の影響によりやむなく出場を断念した者があることも減少の一因である。今後も効果的な活用がなされるよう、広く周知を図っていく。									

O2 社会体育施設等の充実	達成状況	指標数	1	2	2	2	2				
		達成数	1	1	0	0	0				
		達成率	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O201	社会体育施設等の設備等更新	長寿命化実施計画完了事業数	- ※	目標値	-	2	4	6	7	事業	生涯学習課
				実績値	-	2					
				評価	-	○ 達成				以上	
O202	学校体育施設等の設備等更新	修繕、工事及び備品購入施設数	R1 2施設	目標値	2	2	2	2	2	施設	生涯学習課
				実績値	3	1					
				評価	○ 達成	× 未達成				以上	
年度評価	R4	O201 令和4年度は伊東市民体育センターの屋根及び体育室内倉庫扉の修繕を実施した。今後も市民満足度の向上につながるよう、必要な修繕を実施していく。									
		O202 令和4年度は宇佐美中学校プールの浄化装置の修繕を実施した。利用者に起因しない学校開放施設の損傷が少なかったため、1施設のみの改修にとどまったが、今後も必要に応じた修繕を実施し、市民満足度の向上を図っていく。									

※ 伊東市社会教育施設長寿命化計画を令和2年度末に策定予定であるため、基準値は一とした。

O3 指導者の養成	達成状況	指標数	1	1	1	1	1				
		達成数	0	0	0	0	0				
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O301	スポーツ推進委員の拡充	スポーツ推進委員数	R2 11人	目標値	12	13	13	14	15	人	生涯学習課
				実績値	11	11					
				評価	× 未達成	× 未達成				以上	
年度評価	R4	O301 スポーツ推進委員の高齢化や個々の事情により継続できないケースが生じており、従来の方では新規就任者を確保することが難しくなっている。今後は体育協会等の関係機関と連携し、委員の拡充ができるよう努める。									

O4 市民の健康維持及び体力向上		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位 担当課		
			達成数	0	0	0	0	0			
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
0401	スポーツ教室の拡充	参加延人数	R1	目標値	9,100	9,200	9,300	9,400	9,500	人	生涯学習課
			8,979人	実績値	3,908	6,280					
			評価	× 未達成	× 未達成						
0402	市民の体力向上	体力運動能力調査参加者数	R1	目標値	26	27	28	29	30	人	生涯学習課
			24人	実績値	0	0					
			評価	× 未達成	× 未達成						
年度評価	R4	0401 新型コロナウイルス感染症予防のため、中止または実施回数を減少した事業があったことが一因として考えられる。教室実施回数及び内容についても伊東市振興公社と共に検討していくとともに新たな事業開催に向けた調査を継続していく。									
		0402 新しい開催方法を模索し、実施について検討したが、令和4年度は実施できなかったため目標値を達成することができなかった。令和5年度は開催日等の調整を行いより多くの市民が参加できるように事業を行っていきたい。									

担当課	生涯学習課	施策4-6の全指標達成率					
政策目標	4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	6 歴史・芸術文化の振興	指標数	10	10	10	10	10
目指す姿	市民が歴史、芸術文化に触れ、心を豊かにするとともに、後世に伝えることができる	達成数	2	2	0	0	0
		達成率	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	2	2	2	2	2			
		達成数	0	0	0	0	0			
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	「芸術・文化に触れる機会の充実」に満足している市民の割合 (市民満足度調査)	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	62.7%	目標値 64.0	65.5	67.0	68.5	70.0	%	生涯学習課
		実績値	61.8	57.8						
		評価	× 未達成	× 未達成					以上	
目標値の考え方	市民満足度調査を参照することにより、市民の中から無作為に抽出された広範囲の皆様の意見や評価を把握することが可能となるため。									
成果指標 2	「史跡・郷土芸能の保存」に満足している市民の割合 (市民満足度調査)	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	75.9%	目標値 76.8	77.6	78.4	79.2	80.0	%	生涯学習課
		実績値	76.6	70.7						
		評価	× 未達成	× 未達成					以上	
目標値の考え方	市民満足度調査を参照することにより、市民の中から無作為に抽出された広範囲の皆様の意見や評価を把握することが可能となるため。									
R4年度	1 (実績評価) ・3年ぶりに芸術祭を開催したものの、コロナ禍により一部制限をして開催したことや芸術・文化団体の解散等により参加者がコロナ禍前を下回ったことで目標値を達成できなかったと思われる。									
	(次年度修正点) ・観光会館文化事業入場者数は前年度を上回るなど、芸術・文化に対する関心は高いと考える。振興公社及び文化協会と連携し、魅力ある事業を提供することで、市民の皆様の満足度向上が図られるよう努める。									
R4年度	2 (実績評価) ・コロナ禍で郷土芸能の保存に対する関心が薄れていった影響があると考えている。									
	(次年度修正点) ・史跡に関する情報発信や、郷土芸能の保存団体に対する支援に努める。									

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)		指標数	8	8	8	8	8			※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
		達成数	2	2	0	0	0			
		達成率	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
O1 文化財の保護・保存		達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
			達成数	1	1	0	0	0		
			達成率	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
O101	指定文化財等への保護や支援	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				R2	66件	66	67	67	68	68
			実績値	67	67				以上	
			評価	○ 達成	○ 達成				以上	
O102	史跡江戸城石垣石丁場跡保存活用計画に沿った施策実施	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				R1	41件	41	41	42	42	43
			実績値	40	38				以上	
			評価	× 未達成	× 未達成				以上	
O102	史跡江戸城石垣石丁場跡保存活用計画に沿った施策実施	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				※1	—	24	24	24	24	24
			実績値	6	7					
			評価	× 未達成	× 未達成					
年度評価	O101 指定文化財及び無形民俗文化財保存団体登録件数は目標を達成したが、補助金の交付件数は目標に至らなかった。引き続き、指定文化財の所有者等に各種補助金の周知を図り、文化財保護の推進に努める。									
年度評価	O102 目標値を達成するには至らなかったが、民間団体と協力して子ども向けの教材を開発するなど、進展も見られた。令和5年度は整備活用計画の準備を進めながら、展示等で活用を行っていく。									

※1 史跡江戸城石垣石丁場跡保存活用計画を令和2年度末に策定予定であるため、基準値は一とした。

O2 歴史に触れる機会の提供		達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
			達成数	0	0	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
O201	歴史講座及び出前講座並びに講演会の充実	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				R1	10,302人	10,450	10,600	10,750	10,900	11,000
			実績値	890	6,859				以上	
			評価	× 未達成	× 未達成				以上	
O202	木下左太郎記念館及び文化財管理センターの充実	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
				R1	7,714人	7,760	7,820	7,880	7,940	8,000
			実績値	2,663	4,560				以上	
			評価	× 未達成	× 未達成				以上	
年度評価	O201 新型コロナウイルス感染症の影響が減少し、令和3年度と比較して歴史・文化に関するイベントの来場者数は増加したが、目標値には至らなかった。今後も魅力ある歴史講座等を企画し、来場者数の増加を目指していきたい。									
年度評価	O202 木下左太郎記念館・文化財管理センターとも前年度と比較して入場者数が増加したが、目標値には至らなかった。伊東市への来訪者数の減少などの影響を受けたと考えられるが、今後も企画展等のイベント開催によって入館者数の増加に努める。									

O3 芸術文化活動の支援			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O301 芸術文化団体等の支援	文化協会 加盟団体数	R1	目標値	79	80	81	82	83	団体 以上	生涯学 習課	
		78団体	実績値	68	66						
			評価	× 未達成	× 未達成						
O302 芸術文化に取り組む個人 の支援	芸術祭 参加者数	R1	目標値	1,150	1,175	1,200	1,225	1,250	人 以上	生涯学 習課	
		1,136人	実績値	118	928						
			評価	× 未達成	× 未達成						
年度 評価 R 4	O301 新型コロナウイルス感染症による行動制限は縮小したものの、活動の自粛が続き、加盟団体数の増加が見られなかった。継続して加盟団体への支援及び新規加盟促進を図っていく。										
	O302 3年ぶりに芸術祭を開催することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により参加者数は目標値に至らなかった。令和5年度以降は情報発信等を積極的に行い、より魅力ある芸術祭を目指していきたい。										

O4 文化拠点となる場の整備			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401 文化拠点となる場の整備 に向けた調査・研究	文化拠点となる場の 整備に向けた調査・研究の 実施の有無	—	目標値	実施	実施	実施	実施	実施		企画課	
		※2	実績値	実施	実施						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度 評価 R 4	O401 生涯学習課と建築住宅課において神奈川県小田原市にある「小田原市民ホール（通称：三の丸ホール）」に先進地視察を実施した。令和5年度以降についても、引き続き、PPP/PFI手法の導入に向けた調査・研究を進めていく。										

※2 令和3年度から新たに実施するものであるため、基準値を一とした。

担当課	企画課・観光課	施策4-7の全指標達成率					
政策目標	4 心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	7 郷土愛の醸成	指標数	5	5	5	5	5
目指す姿	本市の将来を担う高校生が生まれ育ったまちに誇りを持ち、「住み続けたい」「離れても将来戻ってきたい」と思える	達成数	1	1	0	0	0
		達成率	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課	
		達成数	1	1	0	0			0
		達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%			0.0%
成果指標 1	伊東市に将来戻ってきたいと思う高校生の割合 (高校生アンケート)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	企画課
		R2	58.0%	59.5	61.0	62.5	64.0		
目標値の考え方	伊東市に将来戻ってきたいと思う高校生の割合は、令和元年度実績56.4%、令和2年度実績58.0%を参照し、各年度1%程度の上昇を見込む中で65.0%とした。	実績値	72.7	57.9				以上	
成果指標 2	郷土に誇りと愛着を持っている高校生の割合 (高校生アンケート)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	企画課
		R2	71.6%	72.0	73.0	74.0	74.5		
目標値の考え方	郷土に誇りと愛着を持っている高校生の割合は、令和2年度からの調査項目であり、令和2年度実績71.6%から、各年度1%程度の上昇を見込んだが、4人中3人を目標に75.0%とした。	実績値	68.1	74.0				以上	
R4年度	1 (実績評価) ・目標値に未達成のため、高校との連携を深め、将来戻ってきたいと思うまちづくりに努めていく。 (次年度修正点) ・未来ビジョン会議等を通じて、高校生の生の声を聞く機会の創出に努めていく。								
	2 (実績評価) ・目標値を達成した。高校との連携を深め、今後も郷土 (伊東) に誇りや愛着が持てるようなまちづくりに努めていく。 (次年度修正点) ・高校生アンケートの回答率が前年度に比べて上昇した。今後も回答率を高めていくよう、高校にも積極的に働きかけていくとともに、高校との連携を深め、郷土愛の醸成に努めていく。								

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)	指標数	3	3	3	3	3	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況			
	達成数	0	0	0	0	0				
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
O1 郷土愛醸成に向けた連携の推進	達成状況	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課	
		達成数	0	0	0	0	0			
O101 高校・行政との連携事業の推進	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	事業	企画課
				R1	23	24	26	28		
O102 高校・行政・関係団体等との連携の推進	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	事業	企画課
				R1	11	12	13	14		
O103 高校生おもてなし特派員事業の更なる推進	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	日	観光課
				R1	10	8	—	—		
R4年度評価	O101 目標値に至らなかったため、市内3校が統合した伊豆伊東高校で実施されている総合的な探求の時間「未来学」や課題研究「地域戦略論」のほか、連携の可能性がある校内事業の掘り起こしを行うことで、生徒達の郷土愛につながる取組を増やしていく。									
	O102 前年度の数値よりも数値が上回ったことは評価できるが、目標値には至らなかったため、高校と関係団体との連携を深め、郷土愛醸成に必要な取組に努めていく。									
	O103 本年度においても未だ新型コロナウイルス感染症が平穏化されなかったことから、対外的な交流や観光ボランティアへの依頼を見送ったことにより特派員の体験 (従事) 機会が失われた。なお、本事業が令和5年度から廃止となったこと及び本事業に変わりうる事業がないことなどから目標値を見直す。									